

タウンとびっくす

T o w n t o p i c s



『海岸のごみを調査』

10月5日(火)、大崎中学校の1学年(96人)が、『総合的な学習の時間』を活用し、午前中は地引網とウミガメ放流、午後からは益丸海岸のごみ清掃を行いました。

ごみ清掃は、5~6人1組に分かれて、ごみの内容や数量などをチェック表に記入しながら拾い集めました。その中で特に多かったのが、プラスチック類や発砲スチロールの破片だったようです。

集まったごみは18袋で、リサイクルできるものは水洗いをし、分別収集をしました。

みなさん暑い中、お疲れ様でした。

『新規就農者に就農奨励金を交付』

大崎町では、町内の農業を担う有能な人材を育成・確保するために、新規就農者などの就農促進と定着化、高度な経営能力と農業技術の習得を目的とした『大崎町新規就農者支援事業』を行っています。

10月5日(火)、就農奨励金の交付式が行われ、今回、交付を受けた京都市出身の才本貴之さんは、町内で2年間の研修を終えて、これから本格的に妻の緑さんとともに農業に取り組んでいくことになります。

現在、栽培している作物はハウスナスで、経営規模は約30アールとなっています。



『シルバーの日に奉仕活動』

10月15日(金)、大崎町シルバー人材センターでは、会員総出で益丸海岸のボランティア清掃を行いました。

これは、鹿児島県シルバー人材センター連合会が定めた『シルバーの日』にあわせて毎年実施しているもので、会員と職員を含めて約150人が参加しました。ごみは袋に回収し、流木や竹などは、その場で焼却処分されました。

清掃終了後は、グラウンドゴルフやバーベキューなどをして、会員相互の親睦を深めました。



『グリーンアップキャンペーン秋開催』

毎年、春と秋に実施しているグリーンアップキャンペーン(事務局:鹿児島大学水産学部環境情報科学講座内)が、10月16日(土)益丸海岸で実施され、約40名が参加しました。

これは、単にごみを拾うだけでなく、散乱するごみの量、種類、分布などをデータカードに記入していくというものです。

調査は、3人1組でごみを拾う人とチェックする人に分かれて行われました。特に目立ったごみは、発砲スチロールやプラスチックの破片、ペットボトル、空き缶などでした。

集められたデータの結果は、漂着・散乱ごみ問題の改善に向けた提案などに生かされます。

